

平成 27 年度研究プロジェクト研究活動報告

研究種別	■ 自主研究 6
主査名	福田大輔 ・ 東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻 准教授
研究テーマ	旅行時間信頼性と利用者行動
研究の目的: 本自主研究では、これまで当研究グループで主に取り組んできた旅行時間信頼性の交通経済学的基礎に関する理論研究をさらに深めると同時に、我が国において近年特に整備と蓄積が進展している交通関連ビッグデータを融合的に活用することで、旅行時間信頼性と利用者行動との関連性を、理論的・実証的に検討することを目的とする。具体的には以下の検討を行う <ol style="list-style-type: none">(1) 旅行時間変動に起因するユーザー移動コストの理論モデルの高度化(2) エリア全体の旅行時間信頼性を面的に評価可能なマクロモデルの検討(3) 時刻表ベースの交通機関(鉄道・バス等)における時間信頼性と利用者行動の関連性分析	
研究の経過(4月～9月): <ol style="list-style-type: none">(1) に関して、旅行時間変動の Day-to-Day ダイナミクス(Smith ダイナミクス等)を明示的に考慮した Stochastic Capacity Bottleneck 均衡モデルのプロトタイプを構築し、その基本特性解析を行った。(2) に関して、近未来に ETC2.0 搭載車両が広く普及することを念頭に、ETC2.0 プローブデータが広域で観測される状況におけるエリアレベルでの旅行時間信頼性指標の算出方法について基本検討を行った。(3) に関して、バスでの駅アクセストリップに関する利用者の選好意識調査を実施した。また、バスプローブデータを別途入手し、アクセス旅行時間の変動の基礎的把握を行った。	
下期へ向けて(課題等): <ol style="list-style-type: none">(1) については、理論モデルの確立を行う。(2) については、シミュレーションで作成した仮想データによる検討を行う。また(3)については、時間信頼性を考慮した非集計交通手段選択モデルを構築し、信頼性価値推計を行う。	
研究メンバー(敬称略): 福田大輔(主査・東京工業大学) 兵藤哲朗(東京海洋大学) 岩倉成志(芝浦工業大学) 野中康宏(道路計画) 石田貴志(道路計画) 土谷和之(三菱総合研究所) 牧浩太郎(三菱総合研究所) 肖禹(東京工業大学)	